

## 平成30年度「立科町がんばる地域応援事業」の採択状況について

○この事業は、地域の活性化及び協働のまちづくりを推進するための地域づくり活動に対し、町が補助金を交付するものです。

○今年度も多くの申請をいただき、次の20事業が採択されました。

### 実施団体及び事業名一覧

(平成30年6月1日現在)

No.	実施団体名	事業名	事業年数	概要
1	町区 (町区おもてなし部会)	中山道ウォーキング 町区おもてなし	10	中山道をキーワードに、地域住民が一丸となって町区の歴史・文化を県内外に発信するため、ウォーキングイベントを実施し、地域振興と誘客促進を図る。
2	茂田井区 (茂田井区運営協議会)	中山道ウォーキング 茂田井区おもてなし	10	中山道「茂田井間の宿」を町外、県外に発信し、地域振興と誘客促進を図る。
3	蟹原 くるみ、そばの会	くるみの里づくり	10	荒廃地対策で、くるみとそばを栽培し、地域の魅力づくりに活かす。
4	第10回立科町 合唱祭実行委員会	第10回立科町合唱祭	10	世代を超えて歌声の輪が広がり、更なる音楽文化の発展と活力ある町づくりにつなげる。
5	桐原そばの会	そばを通じた交流事業	9	桐原住民の親睦と畑の荒廃化を防止するため、そばを栽培する。また、そば打ち講習会により、世代を超えた交流を図る。
6	細谷 そばの会	農地保全・そば作りで 地域の活性化	9	細谷区を中心に遊休荒廃地を農地再生し、立科産「信州ひすいそば」のブランド化を確立する。また、そば作りを通して、地元住民がより一層団結力をつけ、世代を超えた交流の輪を広げる。
7	サンフラワー日向	美しい地域づくりと 人材を育成する事業	6	日向住民有志が中心となり、地域環境美化と立科の地域を担う人材育成を図る。
8	地域活性美花の会	美しい地域づくり 「花いっぱい」 環境美化事業	6	「美しい町づくり」の一環として、地域の事業者と住民との協働により県道沿線周辺に花を咲かせ、人々の心を癒し、魅力ある地域づくりを行う。
9	藤沢なごみ会	「(そば) でつなぎ、 延ばす、互助の郷」 づくり	5	遊休地でそばを栽培する。収穫したそばで地域交流を行い、地域でのそば食文化の普及振興に努め、良好な地縁(互助の郷)づくりを図る。
10	JA佐久浅間株式会社 アメック	花いっぱい運動	4	国道142号線沿いJA立科給油所前の歩道にある花壇を整備することで、観光客及び地元の人々の目を喜ばせる。
11	たてしな歴史研究会	たてしな町民歴史公開 講座	4	立科町の歴史に関する講座を企画運営し、町民及び町外の方々に、立科町の良さと歴史を再認識してもらうことで、町民の郷土愛と価値を高める。
12	大深山部落	伝統行事・文化の伝承 事業(Ⅲ)	3	大深山集落竜の子広場の表示板を更新するとともに、伝統行事の歴史や所作等の「手引き書」を作成する。

13	粉んなもの会	粉もの料理で 幸せづくり	3	其々の家庭で作れるものを作付け、収穫をし、収穫したものを製粉し、アイデア家庭料理づくりを行う。また、アイデア家庭料理を地域の方々で食楽・語楽することで、明日への活力づくりをする。
14	ぶらりSHINDEN まち歩き 実行委員会	地域のお宝再発見！ ぶらりSHINDEN まち歩き	3	西塩沢地域（新田）の自然、歴史、人に光を当て、地域の魅力を再発見し、交流による活性化を図る。
15	ラビットクラブ	南裏町道沿いに 花を植える事業	3	南裏町道沿いに花を植え、環境美化を行う。
16	カントリーロード 花ぐみ	花の道づくりと 自然活用学習会	2	「立科町には花と風がよく似合う」がキャッチフレーズとなるよう、町の景観づくりを進めていくとともに、花のある暮らしの良さを地域や観光に活用できるよう実践していく。
17	五無齋保科百助 生誕150周年記念事 業実行委員会	五無齋保科百助 生誕150周年記念の パンフレット作製事業	2	今年生誕150周年を迎える五無齋保科百助の略歴や各分野における足跡を、パンフレットとしてまとめ、形にして後世に残していく。
18	芦田宿商店街エリア にぎわい創出 グループ	芦田宿商店街を とにかかく盛り上げよう 大作戦	1	空き店舗や空き家が目立つ芦田宿商店街の活用方法を、地域住民とともに考える場を設け、そのアイデアを実行していき、新たなにぎわいを創出するきっかけづくりを行う。
19	JOYJOYVillage	JOYJOYVillage	1	立科町の子育て世代の親子をメインターゲットに、親子で楽しめる場所を作るために、イベントの企画・運営や居場所作りを行う。
20	芦田城址保存会	芦田城址の景観保全・ 歴史継承プロジェクト	1	立科町指定文化財の「芦田城址」は、未整備の期間が長くなったことで荒廃地となり、竹林が広がり展望も出来ず、藪で遠目から看板も確認出来なくなった。そのため、新たに団体を設立し、保存活動、整備活動、歴史継承活動を行っていく。